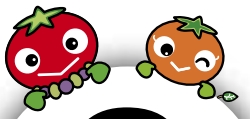
地域とのふれあいを大切にします

はぐくみ



9
2025
Vol.140

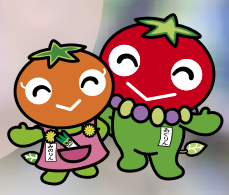
特集

令和6年度准組合員モニター制度活動報告

今月号から
動画をご覧いただける
ようになりました

- P.4〜7
- P.12

をチェック！



表紙の農産物

瀬戸ジャイアンツ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JA大阪中河内

Instagram LINE



瀬戸ジャイアンツ

生産者紹介

たにぐち　やすひろ
谷口 安弘さん【柏原地区】



今回は柏原市でぶどう農家を営む谷口さんの畑にお伺いしました。デラウェア、瀬戸ジャイアンツ、シャインマスカット、ピオーネなど、多品種の「柏原ぶどう」を栽培されている谷口さん。そのぶどう作りへの思いをお聞きしました。

＊　＊　＊

ぶどう作りを始めたきっかけは何ですか？

我が家は先祖代々地元の農家で、ぶどうは大正時代から、父は主にデラウェアを生産する専業農家でした。畑のある柏原市高井田地区は、かつてぶどう作りが盛んな地域で、農業倉庫の壁には出荷組合の35戸の名簿が掲示されていましたが、現在では4戸になっています。1961年の第2室戸台風によって、収穫前に南向きの丘陵地帯のぶどう畑が壊滅状態になり、多くの方がぶどう作りから離れていきましたが、父はその後もデラウェアの種なし処理やビニールハウスの促成栽培でぶどう作りを続けてきました。私は子どものころから作業の手伝いをしてきましたが、学校を出てからは定年まで会社勤めをしていました。10年前に退職し、畑の一部で少量ながら

畑のつづき 柏原店



柏原市大県1-5-3
（ヤマニシデンキビル1階）
☎072-943-0313

畑のつづき 龍華店



八尾市東太子2-1-18
☎072-920-4401

畑のつづき 八尾店



八尾市山本町南7-13-22
☎072-929-9030

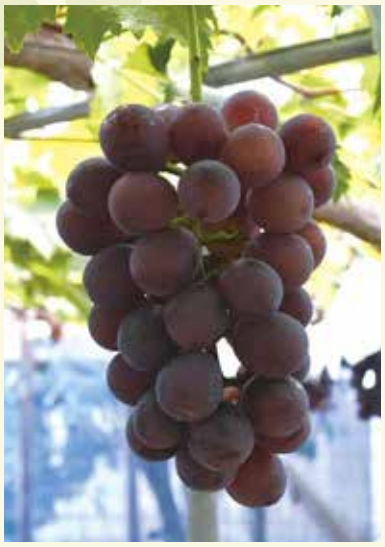
谷口さんのぶどうは
畑のつづき全店で購入
できます



9 はぐくみ
2025 Vol.140

CONTENTS

02 生産者さんのご紹介
04 N&T
08 令和6年度准組合員モニター制度活動報告
12 ほほえみ ～女性会活動ご紹介～
14 おたより紹介 ～読者さん投稿ご紹介～
16 まちの笑顔 ～組合員さんのご紹介～
17 基礎から学ぶ野菜作り教室
18 暮らしの情報
19 令和7年度各協力組織役員
20 おしらせ
22 イベントカレンダー
23 管内の魅力的なスポットを訪ねて







趣味を兼ねてデラウェア以外の新しい品種の栽培を始め、「畑のつづき」にも出荷しています。

畑で作業していると、昔父の手伝いをしていたときに聞いていたさまざまな話を思い出します。当時はそれほど気にしていませんでしたが、今思い出すとあのとき話してくれていたのはこのことだったのかと気づくことがあり、感慨深いです。

ぶどう作りで大変なことは何ですか？

大粒ぶどうを育てる際、ぶどうの形を整えたり、味を良くしたりするための作業として「粒間引き」があります。房になっている実を間引いていくのですが、どの実を残せばいいかの判断が難しく、しかもたくさんの房で行わなければならないので、とても手間のかかる作業です。

よりよいぶどう作りのために大切にされていることは何ですか？

ぶどう作りを始めた当初から、デラウェアの栽培は手伝いを通じて大方わかってはいたものの、他品種のぶどうの栽培についてはわからないことばかりでした。そこで当時から今に至るまで、先輩に教えてもらったり、本を読んだりインターネットを利用したりして常に栽培方法を研究しています。夜家で過ごしているときでも、ふと気づくと栽培方法を調べていたりすることもあります。そしてこれまでに知らなかった情報などがあれば実際に試してみたり…と、試行錯誤を続けながら「おいしい」「色も形もきれい」と思ってもらえるぶどう作りを追及しています。

品種によって別の果物にも思えるほど味が違うぶどう。谷口さんがデラウェア以外の栽培を始めたのは、人々にその違いを楽しんでもらいたいという思いからでした。「柏原ではたくさんの農家の方々がいろいろな種類のぶどうを育てているので、ぜひ多彩な柏原ぶどうを味わってほしい」と谷口さん。ぜひ皆さんも今が旬のおいしい柏原ぶどうを食べてみてください。

ＪＡ大阪中河内の概要

令和７年６月末実績

■組合員数	45,285人
	（正） 4,069人
	（准） 41,216人
■貯金残高	6,358億4,377万円
■貸出金残高	1,234億7,335万円
■長期共済保有高	9,268億9,927万円
■購買品取扱高	1億1,712万円

畑のつづき 長瀬店



東大阪市菱屋西1-20-13
☎06-6748-0140

畑のつづき 東大阪店



東大阪市日下町2-3-1
☎072-929-8011

畑のつづき 天美店



松原市天美南3-13-15
☎072-349-6760

畑のつづき 松原店



松原市上田5-10-35
☎072-290-7091

各所で「八尾えだまめ」PR販売・試食会を開催！











5月下旬から7月上旬にかけて、各所で特産品「八尾えだまめ」のPR販売・試食会を行いました。

5月23日はキリンビールとのコラボにより大阪市の新梅田食堂街女神広場で、5月29日は市場関係者、仲卸関係者等を対象に茨木市の大阪府中央卸売市場大果大阪青果野菜せり場で、6月17日は八尾市のJR八尾駅改札口付近で、7月1日は八尾市のOsaka Metro谷町線八尾南駅改札口付近でそれぞれ開催し、各所で大盛況でした。

また6月上旬から、八尾市と当JA営農経済部の公用車に「八尾えだまめ」を紹介するマグネットシートを貼り付けて走行するPR戦略を展開。各方面で八尾えだまめをPRしました。

第23回女性会通常総会開催



5月19日、女性会は本店2階大ホールで第23回通常総会を開催し、女性会会員の代表者46名が出席しました。主催者を代表して三浦良子会長が「JA全国女性組織協議会では新しい3カ年計画『「あい」からはじまる元気な地域をみんなの力で』を採択されました。私たちも仲間やかかわりを持つ人々との絆を深めながら元気な地域を作り上げることを目指したい」と挨拶しました。役員改選を含む全6議案を審議し全てが承認され、新会長には松井寿子さんが就任されました。その後の第2部では、生活習慣研究所の森山佐恵所長を招き「60・70・80？まだまだ若い！もっともっと元気になりまっせ」をテーマに記念講演を開きました。

令和6年度JAバンク大阪優績店舗・優績個人表彰



5月20日、令和6年度JAバンク大阪優績店舗・優績個人表彰式がホテルニューオータニ大阪で開催され、当JAの支店ならびに渉外担当者が表彰を受けました。受賞店舗、受賞者は以下の通りです。〈優績店舗〉【総合部門】堅下支店〈優績個人〉【渉外総合部門】安田廉【渉外ローン部門】宗重宏隆【若手渉外部門】河島俊祐

柏原ハウスぶどう出荷組合総会



6月5日、柏原ハウスぶどう出荷組合が「柏原ぶどう」の初出荷に向けて第49回総会を青谷コミュニティ会館で開催しました。生産者とJA役職員、市場関係者ら16名が出席し、初出荷の時期を決めるとともに、他府県産ぶどうの出荷状況や市場動向などに関する情報を共有しました。

掲載しているニュース&トピックスの一部は右記のQRコードから動画でご覧いただけます。

農産物直売所「畑のつづき」第7回運営委員会総会開催



5月28日、本店大ホールで第7回農産物直売所「畑のつづき」運営委員会総会を開催し、44名が出席しました。総会では、令和6年度の活動報告と収支報告、令和7年度の事業計画と収支計画など4議案を審議し、すべて承認されました。総会終了後に行われた研修会では、農業気候アドバイザーの森田彰朗氏を講師に迎えて「生産安定と農薬適正使用」をテーマに講演を実施。参加者は「農薬の適正使用を常に意識し、これからも安心安全な野菜作りに努めます」と話しました。

同委員会は出荷者によって構成され、農産物直売所「畑のつづき」の運営や今後の発展に向けた方針等を協議しています。

地域の仕事や人々を知る 小学生の課外授業に協力



6月13日、龍華出張所は八尾市立龍華小学校が生活科の学習の一環として実施する課外授業「町たんけん」に協力しました。当日は同小学校の2年生6名とその保護者が同出張所を訪問し、職員へのインタビューを実施。その後隣接する「畑のつづき龍華店」を見学しました。

柏原ぶどうをPR！ マルシェに出店



6月14日、柏原市農業啓発推進協議会（JA大阪中河内・大阪府・柏原市）は吹田市の北千里駅前で開催された「北千里マルシェ+（プラス）」に「柏原ぶどう」の販売ブースを出店しました。デラウエアをはじめ、ぶどうジュレやぶどうジュースなどの加工品が並び、柏原ぶどうを市外にPRしました。

柏原ぶどう「デラウエア」初出荷！



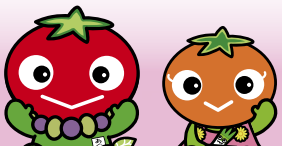




5月末から6月上旬にかけて、柏原市の各ぶどう出荷組合が「柏原ぶどう」デラウエアの初出荷を行いました。

5月30日には国分出荷組合が国分出荷場で、6月5日には横尾ぶどう出荷組合が横尾出荷場で、6月9日には柏原ハウスぶどう出荷組合が堅上出荷場で実施。今年は3月の高温や4月以降の低温などにより生育が心配されましたが、平均糖度を大きく上回る良質のデラウエアが育ち、近畿地区を中心とするスーパーマーケットなどに出荷されました。

柏原地区では10月初旬ごろまで大粒ぶどうの栽培も行われています。



ニュース&トピックスを動画で配信中！

管内各地で子どもたちが田植えを体験！

6月上旬から下旬にかけて、管内各小学校の児童を対象に田植え体験を行いました。食の大切さや食を支える農業への理解を深める食農教育として毎年行っている取り組みで、6日は松原市立松原東小学校、12日は松原市立三宅小学校、13日は柏原市立玉手小学校、19日は東大阪市立長瀬東小学校、25日は八尾市立西山本小学校と東大阪市立小阪小学校、26日は東大阪市立孔舎衙小学校の児童を対象にそれぞれ実施しました。また28日には、松原市で市内の親子を対象とする田植え体験を開催しました。

参加した子どもたちは営農指導員らの指導のもと、田植え紐に沿って一生懸命苗を植えていきました。10月以降に各所で順次稲刈り体験を開催する予定です。


松原東小学校


三宅小学校


玉手小学校


長瀬東小学校


西山本小学校


小阪小学校


孔舎衙小学校


松原市民田植え体験

将来の目標や生き方を考える小学校の総合学習に協力

6月19日、恵我支店は松原市立恵我小学校が実施する総合学習に協力しました。地域の仕事を知り、将来の目標や生き方を考える目的で実施される授業で、当日は児童10名が同支店を訪問。職員の説明の後、仕事に関する聞き取り学習を実施しました。



高校生を対象に自転車交通安全教室を実施

6月25日、東大阪大学柏原高等学校で同校の生徒を対象にJA共済「生徒向け自転車交通安全教室」をJA共済連大阪と共催で実施し、同校の1年生から3年生と教職員約460名が参加しました。日常生活で起こりえる交通事故をスタントマンが実演。その後柏原警察署が記念品として反射材を使用したタックルバンドを生徒に贈呈しました。



第59回東大阪市農産物品評会に出品！

6月20日、東大阪市総合庁舎1階多目的ホールで開催された第59回東大阪市農産物品評会（展示夏野菜の部）に、当JAとJAグリーン大阪管内の生産者が出品しました。品評会には両JA合わせて32名の生産者から90点が出品され、1点が最優秀賞、9点が優秀賞、5点が優良賞となりました。当JAからは、東大阪地区（孔舎衙営農センター管轄）の今西貞子さんが赤タマネギで大阪中河内農業協同組合組合長賞を、長瀬地区（衣摺営農センター管轄）の角田末子さんがピーマンで全国農業協同組合連合会大阪府本部府本部長賞、シシトウで優良賞を受賞されました。









掲載しているニュース&トピックスの一部は右記のQRコードから動画でご覧いただけます。

「JA大阪フレッシュマルシェ」に出店



6月30日、大阪市のクリスタ長堀で開催されたJA大阪中央会産業くらし対策部主催の農産物販売マルシェ「JA大阪フレッシュマルシェ in クリスタ長堀」に出店しました。当JAを含む府下7JAが参加し、当JAからは「柏原ぶどう」デラウェアや「八尾えだまめ」など5品目を出品しました。

高温障害に備えて水稲栽培講習会



7月上旬から中旬にかけて、水稲を栽培する組合員を対象に水稲栽培講習会を開催しました。7日は営農総合センターで、11日は孔舎衙営農センターで、17日は松原営農センターで開催。水管理・薬剤散布・高温障害対策について、エムシー・ファーティコム株式会社の厚東博行氏とJA全農大阪の藤岡一氏の2名を迎えて講習を行いました。

園児が枝豆の収穫を体験



7月1日、孔舎衙営農センターが社会福祉法人玄清会若宮こども園、西若宮こども園、若宮森の子こども園の園児を対象に枝豆の収穫体験を行いました。当日は園児ら約120名が参加。枝豆は4月25日に園児たちが自ら植え付けしたもので、掛け声とともに元気いっぱい枝豆を引き抜きました。

小学校の枝豆収穫体験に協力



7月7日、八尾市立南高安小学校の3年生によるエダマメの収穫体験に協力しました。特産品「八尾えだまめ」の栽培を通じて地域の産業を学ぶ授業で、収穫する枝豆は4月から児童らが校内の圃場で自ら育ててきたもの。児童たちは一つひとつ丁寧に掘り取った後、枝から実を外す作業を体験しました。

EXPO 2025 大阪・関西万博 TOPICS

現在開催中の大阪・関西万博。組合員や当JAが関わった取り組みをご紹介します！

松原市が地元産の農産物をPR！

4月20日から26日にかけて、松原市が開催した農産物PRイベント「まったらおむすび&みそまるショウ」にJA大阪中河内難波葱部会（稲田元正部会長）、大阪エコ農産物まったら愛っ娘推進協議会（上田悦男代表）が協力しました。期間中は特産品「難波葱」を使ったおむすびや、同市のブランド農産物「まったら愛っ娘」を使った即席みそ汁の素「みそまる」を提供。25日には、稲田部会長と上田代表がステージで同市の農産物の魅力を語りました。



「大阪産（もん）を食べて元気になろう！」に参加！

6月12日、JA大阪中央会を通じて大阪府が開催する「大阪産を食べて元気になろう！」に参加しました。会場では府内各JAの加工品の詰め合わせを販売し、当JAは「八尾若ごぼう」のポタージュスープを提供。畑中組合長が詰め合わせを購入者に手渡しました。

さらに、府内の若手農家で構成される大阪府4Hクラブ連絡協議会がおにぎり3種を販売。同協議会に参加する当JAの組合員が販売に協力しました。

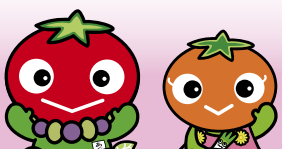




JA職員がボランティアに参加！

6月20日、総務企画部企画広報グループの王文倩さんが5月1日に新設されたボランティア休暇制度を利用し、会場でのボランティア活動に参加しました。王さんは来場する外国人の通訳として、会場内の案内等を担当しました。

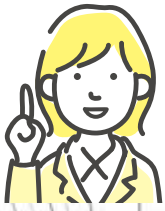




ニュース&トピックスを動画で配信中！

令和6年度

准組合員モニター制度活動報告



ＪＡグループでは、「正・准組合員の積極的なＪＡ事業活動への参加」や、「ＪＡと准組合員の結びつき強化」を目指し、自己改革に取り組んでいます。その一環として実施している「准組合員モニター制度」について、令和６年度の活動内容を報告します。





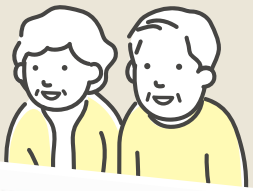








准組合員モニター制度とは



准組合員を「地域農業や経済の発展を共に支えるパートナー」と位置づけ、皆様からのご意見をいただく制度です。「イベントモニター」と「アンケートモニター」の2つの方法で当ＪＡの組織や事業に関するご意見を収集し、ＪＡ運営に役立てます。





イベントモニター

各支店より1名、合計25名の准組合員を対象に、特産品の収穫体験や管内各事業所の見学等を実施。その後ＪＡ役員を交えて、疑問やご意見をお聞きする意見交換会を開催します。

アンケートモニター

年に2回、各支店10名・合計250名の准組合員を対象に郵送でアンケートを実施。ＪＡの各業務やご利用いただいている事業等について、ご意見・ご要望をお聞きします。

令和６年度准組合員イベントモニター活動内容



第１回　令和6年4月19日（金）実施

実施内容
❶ モニターの委嘱
❷ ＪＡ大阪中河内の概要について
❸ ＪＡの仕組み・准組合員の役割について
❹ 懇談会の運営について　❺ 意見交換会

モニターの方々へ委嘱状の授与を行いました。また当ＪＡの概要や大阪農業の現状、協同組合の意義、組合員制度など、ＪＡの仕組みと役割を説明しました。



第２回　令和6年7月18日（木）実施

実施内容
❶ えだまめ収穫体験
❷ 意見交換会

特産品「八尾えだまめ」の収穫体験を行いました。その後の意見交換会では、営農経済事業や農産物移動販売車などに対するご意見をいただきました。



第３回　令和6年8月23日（金）実施

実施内容
❶ ぶどう収穫体験
❷ 意見交換会

特産品である「柏原ぶどう」の収穫体験を行いました。また意見交換会では、ＪＡの各事業に対して普段思っておられることやご要望などをお聞きしました。



第４回　令和6年10月18日（金）実施

実施内容
❶ 施設見学
（営農総合センター、畑のつづき八尾店）
❷ 意見交換会

直売所「畑のつづき」を見学した後、営農総合センターで肥料倉庫、精米倉庫、購買所を見学。本店では介護福祉事業の説明と健康体操を行いました。



第５回　令和6年12月4日（水）実施

実施内容
❶ 難波葱収穫体験
❷ ＪＡ事業紹介
（支店紹介、信用事業、共済事業）
❸ 意見交換会　❹ 支店見学

特産品「難波葱」の収穫体験を行いました。その後天美支店で、信用・共済事業や支店・担当者の業務内容などについて紹介し、支店内の見学を実施しました。



第６回　令和7年2月10日（月）実施

実施内容
❶ 若ごぼう収穫体験
❷ 意見交換会

特産品「八尾若ごぼう」の収穫体験を実施。その後本店で1年間の振り返りとお客様満足度向上のためにどうすればいいかについてのアドバイスをお聞きしました。

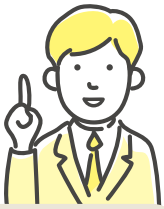


意見交換会でいただいたご意見（抜粋）

- ✓ 収穫体験で農家の方々の大変さがわかり、自分も農業に取り組んでみたいという気持ちになりました。
- ✓ 日本の食料自給率向上が課題となる中、営農分野の各事業に取り組んでいるＪＡの大切さを改めて感じました。
- ✓ 昨今金融機関の支店統合・業務効率化が進む中、ＪＡは人のつながりを大切にしているように思うので、このまま顔の見える営業を続けてほしいです。
- ✓ 農業や食の大切さを改めて知り、若い世代の農業従事者が増えるように協力していきたいと思いました。

令和６年度准組合員イベントモニター

ご意見・ご質問に対するJAからの回答



イベントモニター懇談会でいただいたご意見やご質問のうち、一部を抜粋してご紹介します。

農産物移動販売車について

Q 農産物移動販売車を利用したいのですが、日中は仕事をしており10時から12時の営業時間に利用できません。そこで夕方の営業をご検討いただければ嬉しいです。

A 農産物移動販売車には、実施日に農産物直売所「畑のつづき」へ出荷された野菜を積み込んでおり、お住まいの近くで新鮮な野菜をお求めいただけるのが特長の一つです。現在の営業時間は、夕方にはどうしても野菜の鮮度が落ちてしまうことや、その日に売れ残った野菜を並べているように受け取られてしまわないように設定しておりますが、いただいたご意見を今後の営業の参考にさせていただきたいと思います。

営農経済事業について

Q 若い方にも農業に携わってもらうための方法として、ＪＡが若者を職員として雇用し、その方たちに農業に従事してもらうことはできないのでしょうか。

A これまで大学等で農業について学び、ＪＡで農業に携わりたいという思いをもって入組する新入職員には、営農指導員として業務に携わってもらっています。なおＪＡが農業経営を行うことは農業協同組合法に抵触しますので、子会社を設立して生産法人を立ち上げる必要があります。もし管内でまとまった農地があれば採算の見通しが立ちますが、府下においても都市化が著しい当ＪＡでは農地が点在しており、実現が難しい状況です。

イベントモニターの皆さまからいただいた貴重なご意見・ご要望を「実施報告書兼意見書」としてまとめ、組合長に提出しました。こちらを今後のＪＡ運営に反映し、ＪＡが地域の皆さまになくてはならない存在であり続けるよう、役職員一丸となって努力してまいります。



農産物直売所「畑のつづき」について

Q ＪＡ管内に道の駅を設置されてはいかがでしょうか。どの地域の道の駅も人々で賑わっており、生産者の方々も農産物をそちらに持ち寄ることができて品数も増え、地域が盛り上がるのではと思います。

A 当ＪＡの直売所は管内に7店舗ございます。開業にあたり当初は大規模の直売所を1か所設けることも検討していましたが、当ＪＡでは比較的小規模の農家が多く、出荷しやすい場所に直売所が分散されているほうが負担が少なくて済むという生産者の方々からのご意見を多数いただいた上、採算が合わず赤字経営となる見通しだったため、現在の規模で営業しております。

年金の受け取りについて

Q ＪＡで行われる年金友の会の催しに参加させていただいたり、記念品をいただいたりと、とてもありがたく思っていますので、もっとＪＡで年金を受け取る方々が増えるようにすればいいのではないかと思います。

A 当ＪＡでは、年金をお受け取りいただいている方々へさまざまな特典をご用意しています。またこれから年金を受給される方々に対して、今後受給を控えている状況だからこそ“今何をすれば受け取る額を増やしていけるのか”についてのご提案もさせていただいておりますので、ぜひ各支店までご相談いただければと思います。

介護福祉事業について

Q 介護福祉総合センター「あぐりんの家」について、介護施設の運営は支援内容と利益とのバランスが非常に難しいと思うのですが、高齢化社会が進む中、ＪＡでは今後他の地区での運営をどのように考えておられるでしょうか。

A あぐりんの家は、旧日下貝塚支店の廃店舗を利用して平成29年にオープンし、デイサービスと訪問介護サービスを行っています。オープン当初より赤字経営が続いていましたが、現在ようやく収支のバランスが取れるようになりました。一方で他地区への設置については、建設費用や人材難が課題となり採算のめどが立たない状況ですので、今後もし収益の見込みが立てば改めて検討したいと考えています。

令和６年度准組合員アンケートモニター実施結果

５月と 10 月に実施した准組合員アンケートモニターの結果について、
一部を抜粋し以下にまとめています。



第1回

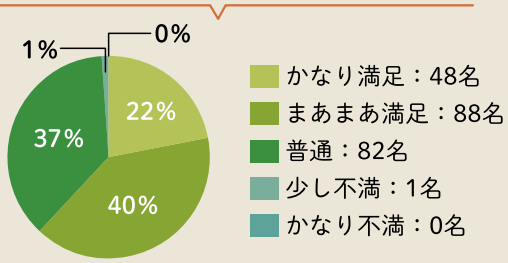
実施期間:令和6年5月24日～6月14日
回答数:219名／250名　回収率:87.6%

ＪＡが他の金融機関より優れている点として、多くの方から渉外担当者による定期的な訪問や親切な対応などを評価いただき、今後も地域密着・顧客密着をＪＡの強みとして努めていくべきであることがわかりました。信用事業については、貯金金利の上昇やより良いサービスの提供を期待する声が多数寄せられました。共済事業については、「他社の後発ではなくＪＡ独自の魅力ある商品開発」「後期高齢者を対象とした各種保険の推進」など、今後の商品を期待する声があがりました。

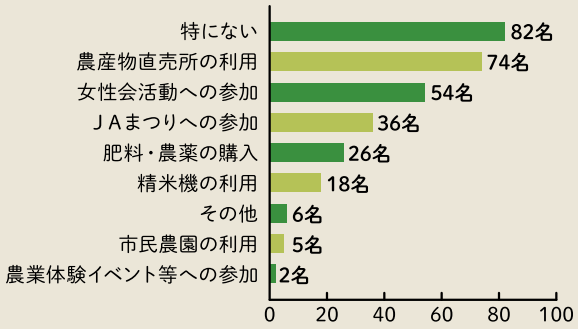
准組合員と営農経済事業との接点は、“農産物直売所「畑のつづき」の利用”が多かった半面、農産物移動販売車を知っている方のうち利用すると答えた方は22%にとどまり、今後も継続して直売所・移動販売車のＰＲや運営改善に取り組むべきであることがわかりました。

今後の営農分野については、農産物の販売拡大・充実を望む声が多数あがったほか、若手農業者の育成や女性会活動の推進、介護福祉事業の拡大を期待する声もありました。

ＪＡの事業に対して総合的にどのくらい満足していますか？



あなたにとってＪＡの営農分野（食と農業）との関わりはどのようなところにありますか？（複数回答可）



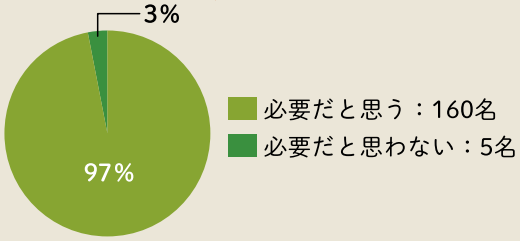
第2回

実施期間:令和6年10月15日～11月6日
回答数:206名／250名　回収率:82.4%

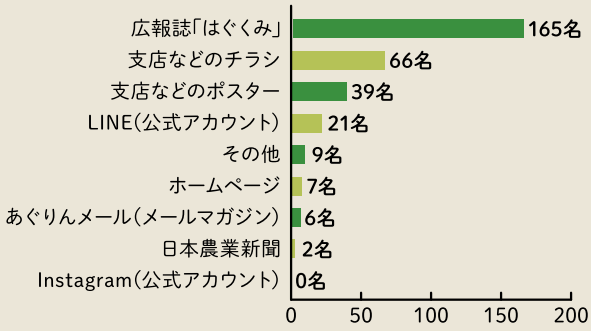
ＪＡの事業や活動については、97%の方が「必要」と評価してくださっています。ＪＡの事業を知る手段については、広報誌「はぐくみ」が最も多かった一方で、当ＪＡのＬＩＮＥを登録していただいている方は10%強、またinstagramの公式アカウントを登録していただいている方は3%にとどまり、ＰＲの強化を図るべきであることがわかりました。広報活動全体については、農産物の販売情報や、イベント、地域に関する情報の発信を求める声が多く聞かれました。

今後のＪＡに期待することは、「渉外活動を継続してほしい」「地域密着で共済事業、営農指導、生活指導のそれぞれを成長させてほしい」など、地域密着型のコミュニケーションに満足いただいているとともに、今後も継続・発展していくことが必要であることがわかりました。また、金利アップを望む声や、「安全な農作物の生産」「農産物直売所の規模拡大」といった、地域農業の発展並びに農産物の販売推進を期待する声もあがりました。

当ＪＡの事業や活動はあなたにとって必要ですか？



ＪＡの行っている様々な事業や活動、農産物の情報について、どの媒体から情報を得ていますか？（複数回答可）



\基礎から学ぶ/
野菜作り教室

今回のテーマ

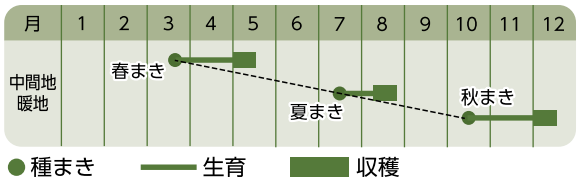
葉ダイコン

防虫ネットで虫害を回避



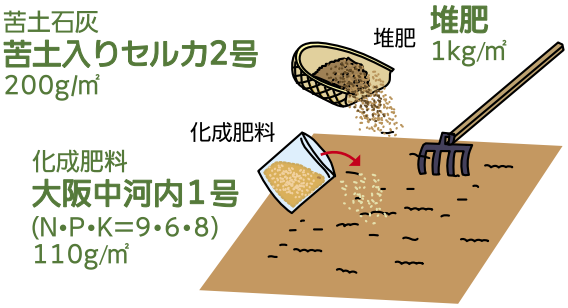
ダイコンの葉は、漬け物、ごまあえ、炒め物として利用されます。間引きした葉も利用できますが、葉を食べることを目的に栽培をします。

栽培カレンダー



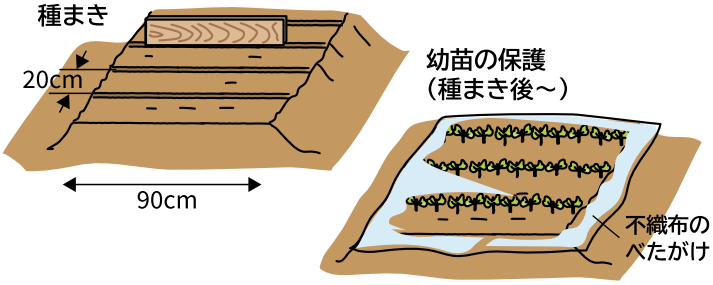
畑の準備

種まきの2週間前までに苦土石灰をまきます。1週間前までに化成肥料と堆肥を施し、土とよく混ぜておきます。その後、幅90cmのベッド(栽培床)を作ります。



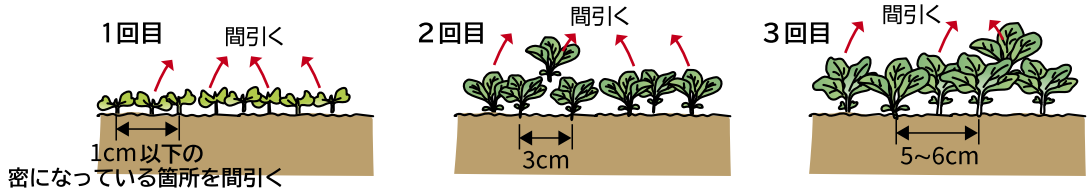
種まき

栽培床の長辺方向と直角に、20cm間隔に約1cmの厚さの板を使って、土を押してまき溝を作ります。ここに1〜2cm間隔に種をまき、種が隠れる程度に薄く土をかけます。発芽まで十分に灌水（かんすい）します。種まき後は、不織布のべたがけをして、幼苗を保護すると良いでしょう。



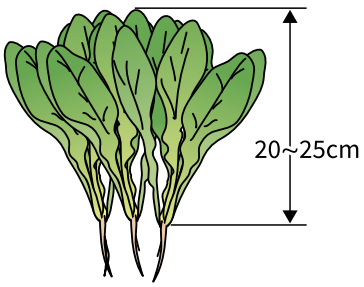
間引きと灌水

発芽後3回に分けて間引きます。1回目は本葉が開く頃、成長の遅れた株、密になっている株を抜き取ります。2回目は本葉3枚の頃、株間を3cm程度にします。3回目に最終株間を5〜6cmに間引きます。畑が極端に乾いていたら、水を株元にたっぷり与えましょう。



収　穫

草丈が20〜25cmになったら、根を付けて抜き取ります。



病害虫の防除

小さい葉の食害は後になって目立ってきますので、種まき後すぐに、不織布のべたがけ、または網目の細かい防虫ネットでトンネル状に被覆して害虫の侵入を防ぎます。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

JA 広報通信「あなたもチャレンジ！　家庭菜園」を引用　園芸研究家・成松次郎



【今回のテーマ】

災害のリスク 5つの安心について

家族との大切な思い出を守るためにできること

自然災害や火災は「明日起こるかも」と考える

地震、台風、火災などの災害は、「自分の身近で明日起こるかもしれない」と考え、対策を講じることが重要です。特に南海トラフ地震は、今後30年以内に80%程度の確率で起こると予測されています。

※政府地震調査研究推進本部「活断層及び海溝型地震の長期評価結果一覧」(算定基準日：2025年1月1日)

住まいのリスクにしっかり備える

JAの「建物更生共済」は、建物のリスクに備えるための総合保障で、「むてきプラス」は建物、「My家財プラス」は家財を対象にした保障を提供しており、ご加入いただくと多くの安心を得られます。

JAの「建物更生共済」5つの安心

1 総合的な保障

一般的な火災保険では、多くの場合、地震保険は追加加入が必要です。しかし、JAの「建物更生共済」では、火災や台風等の自然災害だけでなく、地震による損害も保障しています。

2 満期共済金の支払い

「建物更生共済」では保障期間が満了すると満期共済金が支払われる仕組みになっています。これを修繕費用として活用すれば、効率的に住まいの維持管理が可能です。

3 住居でのケガにも対応

「建物更生共済」では、ご契約の建物や家財について発生した火災や自然災害によって、ケガをされたり、死亡されたりした時には、傷害共済金をお支払いします。

4 インターネットで事故報告が可能

災害時には電話回線が不通となることもありますが、JA共済ホームページやJA共済アプリから事故のご報告をしていただくことが可能です。

5 信頼できる支払い実績

JA共済は「相互扶助」の理念のもと、災害等により被害を受けられた方に共済金をお支払いし、生活再建にお役立ていただいています。

大阪府内では、大阪府北部地震で約454億円、平成30年台風21号で約581億円をお支払いしています。(令和7年2月末時点、JA共済連大阪調べ)

家族の思い出を守るために

災害が起こると、生活環境が一変し、精神的にも大きな影響を受けます。時間が経ってから、その損失の大きさに気づくことも少なくありません。私たちにできるのは、「こんなはずじゃなかった」という事態を防ぐための準備です。住まいの保障を見直し、大切な家族と暮らす家を守るために、ぜひJAへご相談ください。

災害がどのくらい起きているかご存じですか？

火災の発生件数	水災の発生件数	地震の発生件数
14分55秒に1件※1 (35,222件/年)	1回以上 97.6%※2 (1,700市区町村)	約10年に1度※3 (過去約200年間で23回)
	※全国1,741市区町村のうち過去10年間(平成23年～令和2年)の水害・土砂災害発生状況	※過去約200年間(1800年～2011年)で死者・不明者が50人以上の地震発生状況

火災だけでなく、水災や地震、さまざまな自然災害が発生しています。

※1消防庁「令和4年版 消防白書」をもとにJA共済連試算
※2内閣府「市町村のための水害対応の手引き」(令和5年5月)をもとにJA共済連試算
※3政府地震調査研究推進本部「日本における被害地震の発生頻度に関する統計分析について」(平成23年5月9日現在)をもとにJA共済連試算

自然災害が起きると、経済的負担が重くのしかかります。

住宅ローン返済中に災害で住宅が損壊すると…





新たな住宅費（家賃・新たな住宅ローン等）または修繕・建替費 ＋ 続く住宅ローン返済

生活再建のために**二重の負担**が発生!

住宅ローン返済に加え、生活再建の費用が生じるかもしれません。

※詳細につきましては「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。

【25279990024】

ご来店&お見積りキャンペーン

＼大阪府在住の皆さまへ！／

大阪府合計 先着 3,000名様

ご来店いただき、共済のお見積りをしていただいた方に、素敵な賞品をプレゼント！

キャンペーン期間　令和7年4月1日(火)▶令和8年3月31日(火)

応募対象者　大阪府内のJAにご来店いただき、共済のお見積りをしていただいた方

日用品4点セット



※当選の権利を他人に譲渡したり、金品に交換することはできません。
※キャンペーンの応募は、応募者1名につき1口までとさせていただきます。
※先着賞品がなくなり次第終了とさせていただきます。

聞かせて！くらしのこと アンケートキャンペーン

応募はこちら◀

簡単なアンケートに答えるだけで 豪華賞品が当たるチャンス！

令和7年度　各協力組織役員のご紹介

今年度、各協力組織の役員に就任された皆さまをご紹介します。よろしくお願いいたします。

実行組合長連絡協議会


会長
山口 勇治氏


副会長
藤木 聖一氏


副会長
稲田 一義氏


会計
吉田 忠重氏


会計監査
石田 勝已氏

成年部本部役員会


会長
奥村 正治氏

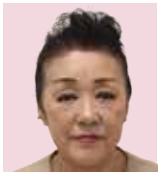

副会長
廣沢 宏治氏


副会長
中村 洋治氏


会計
松本 充章氏


会計監査
青山 浩二氏

女性会本部役員会


会長
松井 寿子氏


副会長
三浦 良子氏


副会長
前園 恭子氏


会計
中谷 津多子氏


会計監査
出口 とし江氏

入会金・年会費 無料

当ＪＡで年金をお受け取りいただいている方限定！

年金友の会



当ＪＡで年金をお受け取りいただく方にご入会いただいている「年金友の会」。
会員の方々を対象に地区別で楽しい旅行やイベントを開催しています！

※内容は地区によって異なります。※年金のお受け取りが確認できなくなった場合、年金友の会にご参加いただけなくなります。

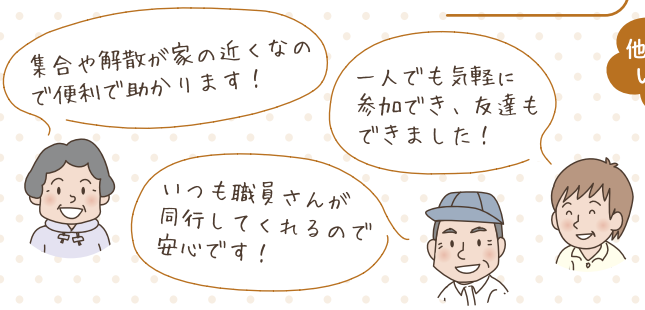
年金友の会旅行

- 魅力1 集合＆解散が最寄りの支店管内で便利！
- 魅力2 JA 職員が同行するので安心！
- 魅力3 豪華な旅行が会員価格でお得に！

年金友の会催しもの

芸能人の方々によるバラエティーショーや健康に関する講演、観劇を楽しんでいただく催しを開催します。



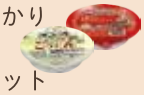


他にもお得がいっぱい！

年金のお受け取りはぜひJAで！

特典 お誕生日プレゼント

- 河内っ子ひのひかり 白ごはん＆お赤飯の紅白セット



特典 金利優遇商品

- シルバー定期貯金
- シルバー定期プラスワン
- なごみ定期積金

年金のお受け取りは各支店窓口または渉外担当者までお申し込みください！

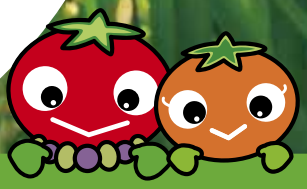
2025年9月スタート！

農業をされている方対象

営農経済部 LINE 公式アカウント



友だち登録をしていただいた方に、農業に関する
さまざまなお役立ち情報を配信します。
農業をされている方はぜひご登録ください！



こんな情報をお届けします！

- 肥料・農薬情報
- 病害虫防除情報
- 農業融資に関する情報
- 大阪府が発信する営農情報
- 農業関連講習会 ※正組合員対象

その他にも各種営農情報を随時発信していきます！

友だち登録方法

LINE アプリの「お友だち追加」→「QR コード」から
こちらの QR コードを読み取ってご登録ください。 ▶▶▶

イベントカレンダー

税 税務相談（開催場所 支店名）
13時～16時

イ イベント

法 法律相談 ※要予約
13時～16時
※税務・法律相談ともご相談は予約順となっております。最寄りの店舗または業務部資産相談グループまでお電話ください。
（☎ 072-924-6647）

セ セカンドライフ応援相談会※要予約
午前の部…10時～12時
午後の部…14時～16時
※年金に関するお問い合わせは、業務部業務グループ（☎ 072-924-6647）または各支店窓口・渉外担当者まで！

移 移動販売車（開催場所）
10時～12時　雨天決行

各日程は予定となります。都合により変更・中止の場合がございますので、あらかじめご了承ください。

9 September 2025

月	火	水	木	金	土	日
1 移 萱振支店	2 移 山本支店/本店	3 移 高安支店	4 移 曙川支店/玉手出張所	5 移 大正支店	6	7
8 移 志紀支店	9 法 本店 移 柏原支店/衣摺営農センター	10 税 松原地区（松原・天美・三宅）長瀬地区（ながせ） 移 堅上支店	11 税 本店 法 石切支店 移 国分支店/松原市役所正面玄関	12 移 布忍支店	13	14
15 敬老の日	16 税 東大阪地区（石切・孔舎衙） 法 堅下支店 移 石切支店/八尾西部購買所	17 税 八尾地区（山本・八尾駅前・南高安・龍華出張所・北高安・曙川・大正） 移 枚岡支店	18 セ 午前：ながせ支店 午後：志紀支店 移 弥刀支店/八尾市役所旧八尾図書館跡地	19 移 孔舎衙支店	20 イ 河内っ子綿つみ体験 セ 午前：孔舎衙支店 午後：龍華久宝寺支店	21
22 移 大蓮出張所	23 秋分の日	24 税 柏原地区（堅下・国分） 移 三宅支店	25 移 枚岡支店	26 移 弥刀支店	27	28
29 移 柏原市役所駐車場	30					



10 October 2025

月	火	水	木	金	土	日
		1 移 高安支店	2 移 曙川支店/玉手出張所	3 移 大正支店	4	5
6 移 萱振支店	7 移 山本支店/本店	8 税 松原地区（恵我・布忍）長瀬地区（ながせ） 移 堅上支店	9 税 本店 法 松原支店 移 国分支店/松原市役所正面玄関	10 移 布忍支店	11	12
13 スポーツの日	14 法 本店 移 柏原支店/衣摺営農センター	15 税 八尾地区（萱振・南高安・龍華久宝寺・高安・志紀） 移 枚岡支店	16 移 弥刀支店/八尾市役所旧八尾図書館跡地	17 移 孔舎衙支店	18 セ 午前：恵我支店 午後：柏原支店	19
20 法 ながせ支店 移 三宅支店	21 税 東大阪地区（枚岡） 移 石切支店/八尾西部購買所	22 税 柏原地区（柏原・堅上） 移 三宅支店	23 移 枚岡支店	24 移 弥刀支店	25	
27 移 大蓮出張所	28 移 国分支店/一津屋ATMコーナー前	29	30	31		



理事会だより

議案

【令和7年7月31日】
○令和7年度版ディスクロージャー誌の件
○地方公共団体等に対する貸出金入札参加の概要の件
○令和7年度年金友の会助成金の支払いの件

出資に関する変更手続きはお済みですか？

組合員加入時の登録内容から変更があった場合、変更手続きが必要となります。

例えば
- **引っ越しなどで住所が変わった方**
- **農地を売却した方**
- **相続手続きが未了の方**
- **農業を始められた方、辞められた方**　など

詳しくは最寄りの支店または渉外担当者までお問い合わせください。






ビールに合う手作りのおつまみも人気


tA ブリューイングの浅井さん

tAブリューイング

“やーごんぼ”のクラフトビールで八尾を「次の世代が受け継ぎたいまち」へ

— 八尾市

矢の形に似た束ね方から「やーごんぼ」とも呼ばれ、古くから親しまれてきた伝統野菜「八尾若ごぼう」。これを原料にしたクラフトビール作りに取り組んでいるのが、「tAブリューイング」を営む浅井貴宏さんです。今回はこちらのお店にお伺いし、浅井さんにお話をお聞きしました。

浅井さんの実家は農家で、代々八尾若ごぼうや八尾えだまめなどを育ててきました。秋に種をまく若ごぼうは、冬に一度全て刈り取り、新しく出てきた芽を春先に収穫します。幼いころから畑仕事を手伝っていた浅井さんは、この刈り取られた茎や葉を何かに使えないかと思っていました。その後、就職で東京暮らしを始めた浅井さんは、そこでクラフトビールに出会い、おいしさに感動。自分でもビールを作りたいという気持ちが湧きあがる中で思い立ったのが、八尾若ごぼうを原料とするクラフトビールでした。しかし費用面やノウハウがないことなどが障壁に。それでも、クラフトビール作りに携わる人々との交流を重ねつつ夢を膨らませてきた浅井さん。副業として行っていたデータ分析支援の活動で資金を工面しながら、クラフトビール事業の立ち上げを目指し準備を進め、２０２４年にｔＡブリューイングを起業し、八尾若ごぼうを使ったビール「やーごんぼペールエール」を開発しました。

やーごんぼペールエールは、若ごぼうの特徴である苦味や土の香りの中に、ほのかな甘みを含んだ深みのある味わいを楽しむことができます。原料の若ごぼうは浅井さんの実家で育てられたもの。「ビールを仕込むごとに若ごぼうの根・茎・葉の量や比率を変え、若ごぼうの風味とすっきりした飲み口のバランスを追及している」と浅井さんは話します。この他に、華やかな味わいが特徴の「ブロンドエール」、峠道〝恩智越〟の景色や爽快感をイメージした「恩智越へイジーＩＰＡ」の２種を製造。缶は浅井さんが自らデザイン。さらに、八尾えだまめを使ったビールを７月に開発し、大阪関西万博の「地域の魅力発見ツアー」で初めて販売されました。タップルーム（ビール醸造所の試飲会場）と位置付けられたお店では、浅井さん自作のビールサーバーから注がれる樽生のビールを２サイズで提供。ビールは持ち帰りも可能です。また、オリジナル商品のビールに合うクッキー「ビアーズＯＴＯＭＯ」や、手作りのおつまみも人気です。

将来は自分たちの醸造所を設けたいと語る浅井さん。その背景には、生まれ育った八尾への強い思いがあります。「この八尾を、子供たちが〝八尾のいいところを受け継いでいきたい〟と思えるような思い入れのある場所にしたい」。希望を注いだ至極の一杯で、八尾の未来を照らします。


落ち着いた店内には自作のビールサーバーを設置



お店はビールのようなオレンジ色が目印



はくくみ 2025年9月号



もぎたての美味しさを体験しよう！

今が旬の味覚！柏原のぶどうを食べつくそう！

※写真はイメージです

柏原 ぶどう狩り

園内食べ放題

開催期間 8月16日から10月第1日曜まで

主な品種（カッコ内は食べごろの時期）



マスカット・ベリーA
甘みが強く、ほどよい酸味もあり食味のよいブドウ
（8月中旬～最終日）



大粒品種

ピオーネ等
さわやかな酸味と甘みのバランスがよい紫黒色の大粒ブドウ
（8月中旬～9月中旬）

※各品種の食べごろは、気候により前後することがあります
※開園期間は天候等により、変更する場合がございます

入園料

区　分	大　人	小　人	園　児
一般 1名さま	1,900円	1,000円	800円
団体 1名さま（20人以上）	1,700円	800円	600円
ピオーネ等（大粒品種）	2,800円	1,800円	1,200円

●お持ち帰りの場合は時価で販売いたします。●敷物は各自ご持参ください。

休園日

火曜日
（祝日の場合は営業いたします。）

受付時間

月・水・木・金
AM 9:00～PM 1:00（閉園時間 PM 2:00）
土・日・祝
AM 9:00～PM 3:00（閉園時間 PM 4:00）

お申し込み・お問い合わせ

大阪府柏原市大県4丁目17-9
JA大阪中河内 柏原営農センター内
柏原市観光ぶどうセンター
TEL 072-971-8308 FAX 072-971-4863

〒581-0019 八尾市南小阪合町2-2-2（電話）072-996-1717
発行者／大阪中河内農業協同組合 代表理事組合長 畑中正史

JA大阪中河内 https://www.ja-osaka-nakakawachi.or.jp/

本　店	☎072-996-1717	曙川支店	☎072-922-1167	松原支店	☎072-332-8008	大蓮出張所	☎06-6727-0115
萱振支店	☎072-923-4021	大正支店	☎072-949-5201	天美支店	☎072-332-8110	長瀬駅前支店	☎06-6723-0051
山本支店	☎072-923-4088	志紀支店	☎072-949-5371	布忍支店	☎072-332-1011	営農総合センター	☎072-943-2832
八尾駅前支店	☎072-992-2525	堅下支店	☎072-971-0285	三宅支店	☎072-332-8001	松原営農センター	☎072-331-1881
南高安支店	☎072-943-6321	柏原支店	☎072-972-0276	石切支店	☎072-981-5881	八尾西部営農購買所	☎072-923-4451
龍華久宝寺支店	☎072-923-4445	堅上支店	☎072-979-0321	枚岡支店	☎072-982-3333	柏原営農センター	☎072-971-8308
龍華出張所	☎072-923-4378	国分支店	☎072-978-6081	孔舎衙支店	☎072-981-1121	孔舎衙営農センター	☎072-984-7728
高安支店	☎072-941-8028	玉手出張所	☎072-977-5801	ながせ支店	☎06-6728-0666	衣摺営農センター	☎06-6728-0663
北高安支店	☎072-941-8027	恵我支店	☎072-332-8080	弥刀支店	☎06-6722-4151	介護福祉総合センター	☎072-929-9511